

2015年9月8日
ディー・エル・マーケット株式会社

デジタルコンテンツに特化した CtoC マーケットプレイス運営の ディー・エル・マーケットが行政刊行物のオンデマンド印刷に対応開始 ～第一弾として横浜市が導入し、全国の自治体では初となる取り組みを実施～

株式会社オールアバウトの子会社であるディー・エル・マーケット株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：江幡哲也、以下ディー・エル・マーケット）は、運営するデジタルコンテンツに特化したダウンロード販売専門のマーケットプレイス「DLmarket」において、地方自治法など行政の刊行物を対象カテゴリとして新たに扱うと同時に、オンデマンド印刷にも対応開始いたします。第一弾として、横浜市都市整備局が導入し、本日より「DLmarket」内の特設ページから、ダウンロードまたは製本印刷の発注が可能になります。

オールアバウトでは、2015年6月より新規事業の一環としてデジタルコンテンツに特化したCtoCマーケットプレイス「DLmarket」（<http://www.dlmarket.jp/>）を運営するディー・エル・マーケットを子会社化しました。「DLmarket」はソフトウェアや電子書籍さらには楽譜など39カテゴリの多種多様な商品を20万点以上取り扱い、個人・法人あわせ約50万人の会員が利用。2014年の年間販売取引実績は約20万件にものぼっています。

そのような中、「DLmarket」で取り扱うカテゴリの拡大、および自治体と連携した新たな取り組み強化を目的とし、行政刊行物の取り扱いと、それらを1冊からでも発注可能なオンデマンド印刷に対応していきます。

第一弾として、横浜市都市整備局が発行する今後の都市デザインの重要な考え方をまとめた「横浜都市デザインビジョン」を、特設サイトを通じて配信開始します。サイトからのダウンロードは無料、製本印刷にて受け取る場合は1,500円（税込、送料込）が発生いたします。横浜市は、このたびの取り組みにより、部数や受取先・受取時期など、必要とする人の要求に合わせて届ける仕組みを構築し、政策を広く継続的に普及させることができます。また、印刷予算や在庫管理、在庫スペースの無駄なども省くことができます。なお、今回の導入は、横浜市が新たな事業機会の創出と社会的課題の解決に取り組むため、民間企業・団体からの提案を受け付ける「共創フロント」を通じて実現に至ったものです。

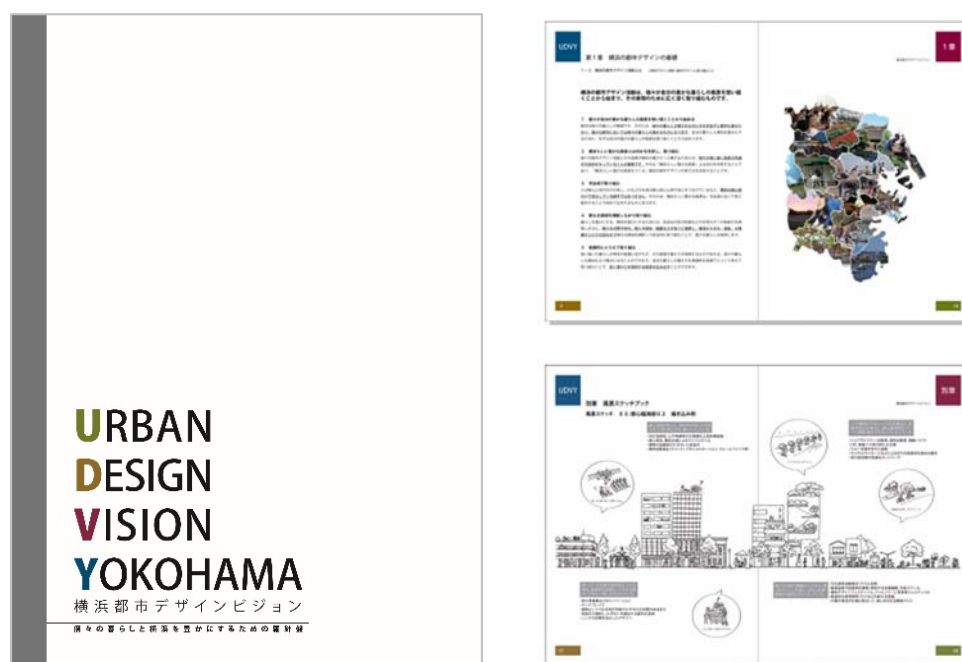
ディー・エル・マーケットでは今後、他の自治体に対しても同様の取り組みを提案し、各自治体の政策を市内のみならず全国の方々に広く周知・普及できる新たな価値を持ったプラットフォームとして、サービスの向上に努めてまいります。

【ディー・エル・マーケット株式会社の概要】

- 所在地：東京都渋谷区恵比寿一丁目20番8号
- 代表者：代表取締役社長 江幡哲也
- 設立日：2015年6月10日
- 資本金：2,000万円
- 主な事業内容：デジタルコンテンツ販売マーケットプレイス事業

【横浜都市デザインビジョンの概要】

2015年度4月に策定。本ビジョンは、これまでの横浜市の都市デザインへの取組を振り返り、抽出した重要な考え方などが掲載されているだけでなく、別章として手に取った一人一人が描き込める「風景スケッチブック」のページなどを収録しており、一人でも多くの方に届けたい政策発行物です。



■DLmarketについて <http://www.dlmarket.jp/>

株式会社オールアバウトの100%子会社であるディー・エル・マーケット株式会社が運営しており、2006年11月にオープンした、デジタルコンテンツを自由に売買できるダウンロード販売専門のマーケットプレイスです。電子書籍やクリエイター向けの制作素材、学習教材、ソフトウェア、電子チケットなど、39カテゴリにもおよぶ約20万点のデジタルコンテンツが日々売買されております。会員数は個人・法人あわせ約52万人。2014年の年間販売取引実績は約20万件。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先：

株式会社オールアバウト 広報担当：柏原

E-mail：pr@staff.allabout.co.jp